

DC158 Visual Presenter

ユーザーマニュアル



[重要]

クイックスタートガイド、多言語マニュアル、ソフトウェア
またはドライバーをダウンロードするには、Lumens ウェ
ブサイト(<http://www.lumens.com.tw/goto.htm>)
にアクセスしてください

目次

著作権情報	3
第 1 章 安全上の注意	4
安全のための注意事項	5
FCC 警告	5
第 2 章 パッケージ内容	6
第 3 章 製品概要	7
3.1 プレゼンターと文書との位置合わせ	8
3.2 正しい使用法	8
第 4 章 設置と接続	9
4.1 システム図	9
4.2 外部装置への接続	10
4.3 はじめに	12
4.4 アプリケーションソフトウェアのインストール	13
第 5 章 ディップスイッチ	14
5.1 プロジェクターまたはモニターへの接続	14
5.2 TV への接続	15
第 6 章 コントロールパネル/リモートコントローラおよびオンスクリーンメニュー の紹介	16
6.1 コントロールパネルおよびリモートコントローラのボタンの機能	16
6.2 オンスクリーンメニュー	17
第 7 章 主要機能の説明	19
7.1 画像ソースの切り換え	19
7.2 テキストを鮮明にし写真をカラフルにする	19
7.3 画像からズームイン/ズームアウトします	19

7.4	オートフォーカスの使用	19
7.5	輝度の調節.....	20
7.6	ランプのオン/オフ.....	20
7.7	最適な輝度および焦点距離への画像の自動調節	20
7.8	画像のフリーズ	20
7.9	画像のキャプチャ	20
7.10	ビデオを録画したい.....	21
7.11	キャプチャされた画像の参照	21
7.12	キャプチャされた画像の削除	21
7.13	装置がオフになると自動的にキャプチャされた画像を削除する(自動 削除)	22
7.14	ライブ画像のパン(PAN)	22
7.15	スライドの再生(スライドショー).....	22
7.16	ライブ画像の保存されている画像との比較(PBP).....	23
7.17	画像ノイズを低減したい(プロジェクタータイプ).....	24
7.18	工場出荷時デフォルト設定の復元(工場出荷時設定へのリセット)	25
7.19	コンピュータ関連機能	25
第 8 章	顕微鏡との接続	29
第 9 章	トラブルシューティング	30

著作権情報

Copyrights © Lumens Digital Optics Inc.、全権留保。

Lumens は、Lumens Digital Optics Inc.の登録商標です。

Lumens Digital Optics Inc.からの授権がない限り、製品購入後のバックアップの目的以外、このファイルを複写、複製または転送することが禁止されます。

製品を改良し続けるために、Lumens Digital Optics Inc.は事前の通知なしに製品仕様を変更する権利を留保します。このファイルの情報は事前の通知なしに変更される場合があります。

この製品の使用法を完全に説明または記述するために、本マニュアルには他の製品名または会社名に言及する場合があります。その場合、いかなる権利侵害の意図もありません。

保証の免責事項:Lumens Digital Optics Inc.は、発生しうるいかなる技術的な編集上の誤りまたは脱落に対する責任も負わず、また、このファイル提供あるいはこの製品の使用または操作から生じるいかなる偶発的または関連する損傷に対しても責任を負いません。

第 1 章 安全上の注意

ビジュアルプレゼンターの設定および使用時には、常に以下の安全指示事項に従ってください：

1. 傾斜した場所にビジュアルプレゼンターを置かないでください。
2. ビジュアルプレゼンターを不安定な台車、スタンドまたはテーブルの上に置かないでください。
3. ビジュアルプレゼンターを水または熱源の近くで使用しないでください。
4. アタッチメントは推奨する方法でのみ使用してください。
5. ビジュアルプレゼンター上に記載してある電源タイプを使用してください。使用可能な電源のタイプが分からない場合は、ディーラーまたは最寄の電気会社に相談してください。
6. 簡単に電源プラグがはずせる位置にビジュアルプレゼンターを置きます。
7. プラグを扱うときは常に以下の安全上の注意事項に従ってください。注意に従わないと火花が散ったり火災が発生する恐れがあります。
 - プラグをソケットに挿す前に埃が付着していないことを確認してください。
 - プラグがソケットにしっかりと挿入されていることを確認してください。
8. 壁コンセント、延長コードまたはマルチウェイプラグボードに負荷を掛けすぎないようにしてください。負荷を掛けすぎると火災または感電の原因になる場合があります。
9. コードを踏むような場所にビジュアルプレゼンターを置かないでください。コードまたはプラグが擦り切れたり損傷する可能性があります。
10. 洗浄する前には壁コンセントからプロジェクターの電源プラグを外してください。洗浄には湿った布を使用してください。液体やエアゾール洗剤は使用しないでください。
11. プロジェクターのカバーにあるスロットと開口部を塞がないでください。スロットや開口部は換気の役割をし、ビジュアルプレゼンターの過熱を防止します。ソファ、カーペットまたはその他の表面が柔らかい物の上にビジュアルプレゼンターを置いたり、換気が不十分な場合には内蔵する形式の設備内に設置しないでください。
12. キャビネットのスロットにどんな種類の物も押し込まないでください。ビジュアルプレゼンターの内部にどんな種類の液体もこぼさないでください。
13. このユーザーマニュアルで具体的に指示している場合を除き、自分でこの製品を修理しようとししないでください。カバーを開けたり外したりすると、危険な電圧やその他の危険に晒される恐れがあります。修理はすべて資格のある修理担当者にお任せください。
14. 雷が鳴っているとき、または長期間使用しない場合は、ビジュアルプレゼンターの電源プラグを抜いてください。ビジュアルプレゼンターまたはリモコンを車など、熱を発生する機器または熱くなっている物体の上に置かないでください。

15. 以下に記載した状況が発生したときは、ビジュアルプレゼンターの電源プラグを壁コンセントから抜いて、資格を持った修理担当者に修理を依頼してください。
- 電源コードまたはプラグが損傷しているか擦り切れている場合。
 - 液体が内部にこぼれた場合、またはビジュアルプレゼンターが雨または水に晒された場合。




<注> リモートコントローラに不適切なタイプのバッテリーを使用すると故障する可能性があります。使用済みバッテリーの処分方法については、お住まいの国の指示に従ってください。

■ 安全のための注意事項

警告: 火災または感電の危険を減らすために、この装置を雨または湿気に晒さないでください。

このビジュアルプレゼンターには 3 線の AC 電源プラグが付いています。これは、プラグが電源コンセントに確実に挿入されるようにするための安全機能です。この安全機能を無効にしようとししないでください。

ビジュアルプレゼンターを長期間使用しない場合はプラグを電源コンセントから外してください。

	<table border="1"><tr><td>注意</td></tr><tr><td>感電の危険性</td></tr></table>	注意	感電の危険性	
注意				
感電の危険性				
注意: 感電の危険を減らすために、カバー(または後部パネル)を外さないでください。機器の内部にはユーザーが修理できる部品はありません。修理は資格のある修理担当者にお任せください。				
	このシンボルは、この装置には感電を引き起こす可能性のある危険な電圧が使用されることを示しています。			

■ FCC 警告

注: メーカーは、この装置の不正改造が原因で発生するいかなる無線またはテレビ干渉に対する責任を負いません。そうした改造を行なうと、装置を操作するユーザーの権限が取り消される場合があります。

第 2 章 パッケージ内容

DC158



ダウンロードおよび
安全上の指示



USB ケーブル



顕微鏡アダプタ



緩衝材入りキャリーバッグ
(オプション)



バックライト(オプション)



クイックスタートガイド



(他の言語のマニュアルをダウンロードするには、Lumens ウェブサイトにアクセスします。)

リモートコントローラ



C-ビデオケーブル



アクセサリポーチ



RS-232 アダプタ
(オプション)



リモコンホルダー



VGA ケーブル



電源コード

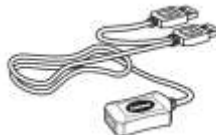


外観は、国によって異なる場合があります

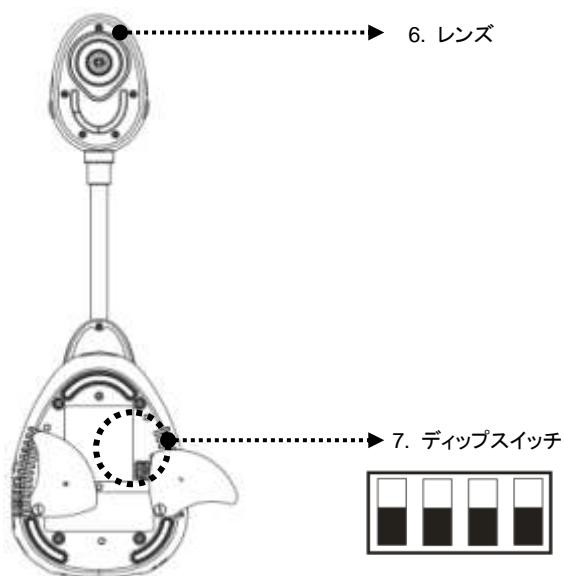
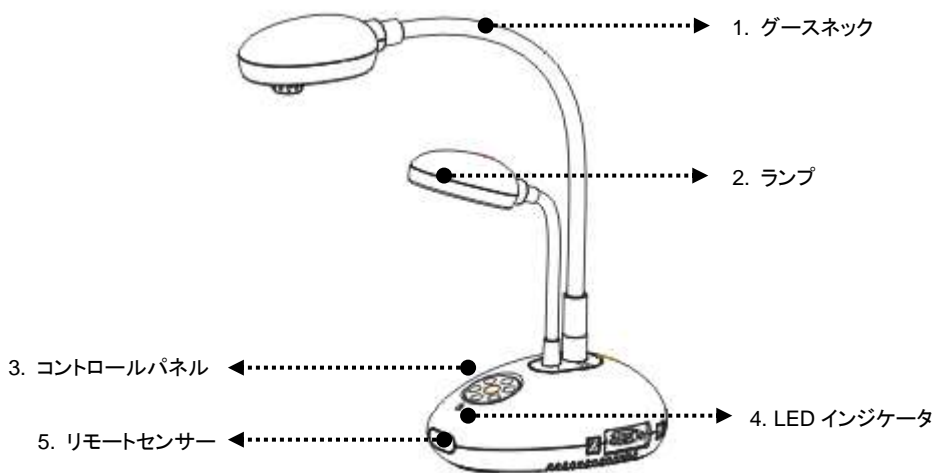
ポーチ



拡張 USB ケーブル
(オプション)



第 3 章 製品概要



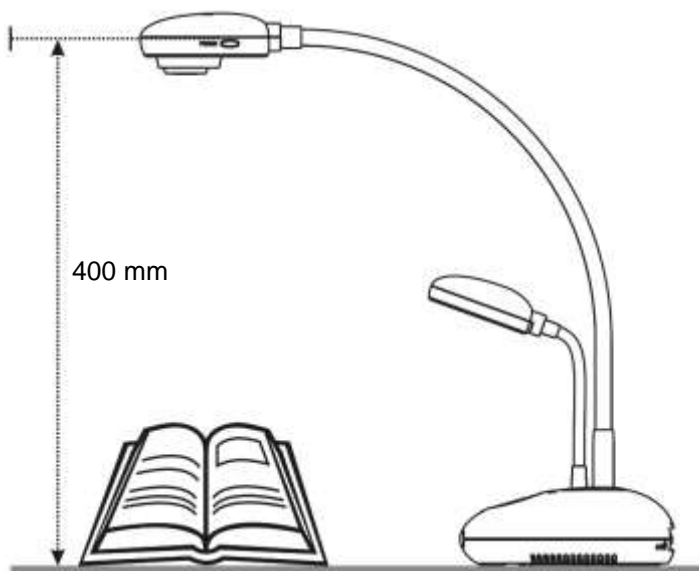
(底面)

3.1 プレゼンターと文書との位置合わせ



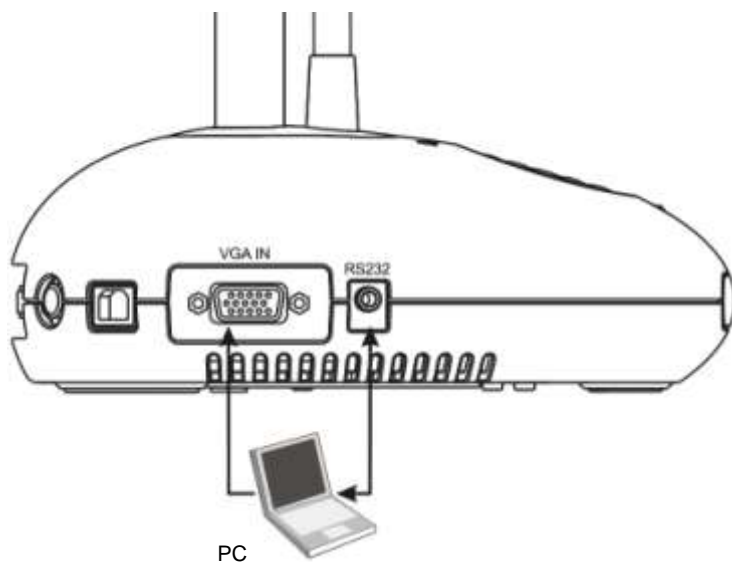
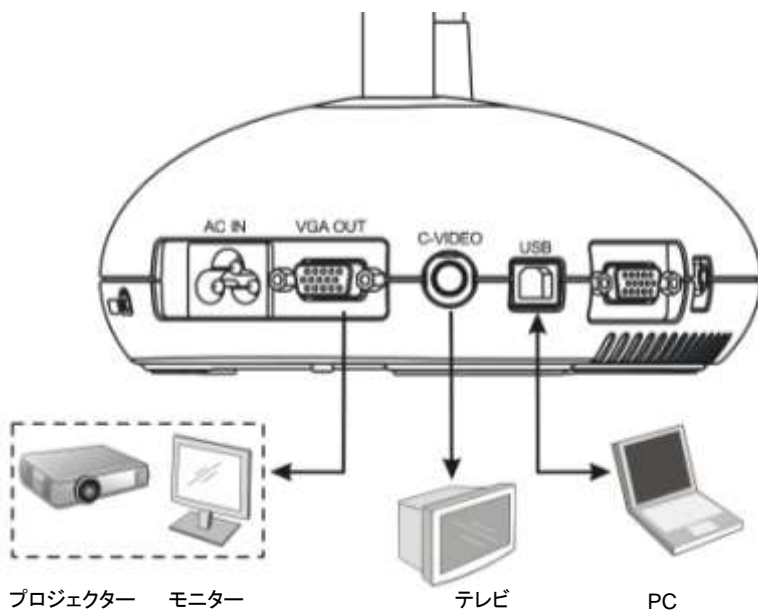
3.2 正しい使用法

* カメラと机上との距離を約 400 mm にすることをお勧めします。



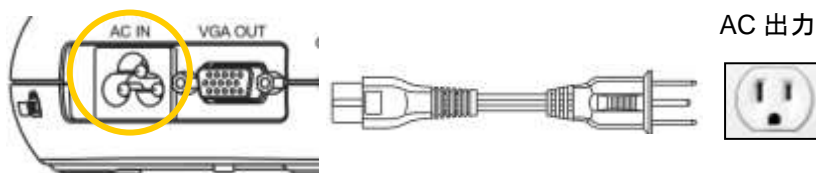
第 4 章 設置と接続

4.1 システム図



4.2 外部装置への接続

4.2.1 手順 1: DC158 の AC In から出ている電源コードを電源コンセントに接続します

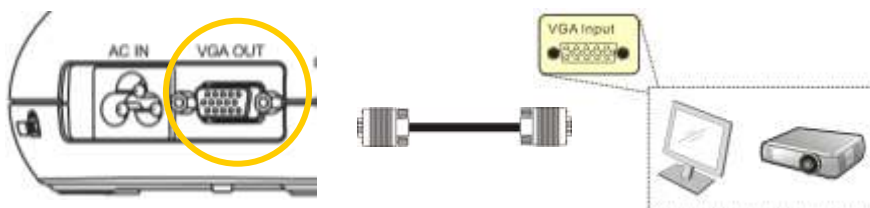


<注>: 電源コードの外観は国/地域によって異なることがあります。

4.2.2 手順 2: プロジェクターと他のハードウェア装置との接続

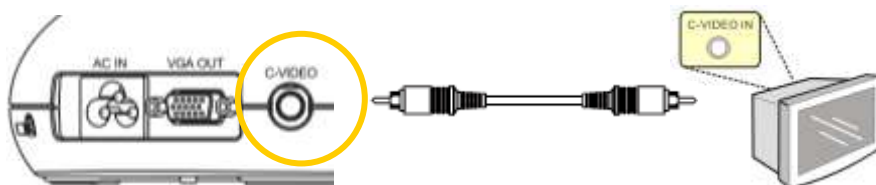
➤ プロジェクターまたはモニターへの接続

- DC158 の VGA OUT ポートから出ている VGA ケーブルをプロジェクターまたはモニターの VGA IN ポートに接続します。



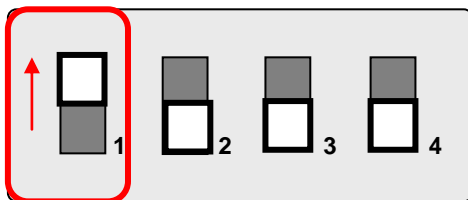
➤ TV への接続

1. DC158 の C-VIDEO ポートから出ている C-VIDEO ケーブルをテレビの C-VIDEO ポートに接続します。

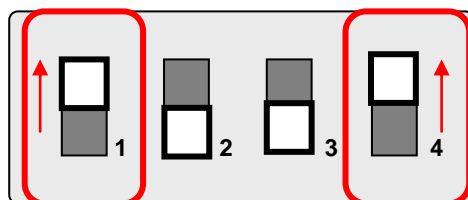


2. DIP スイッチ設定の調整

■ NTSC: 米国、台湾、パナマ、フィリピン、カナダ、チリ、日本、韓国およびメキシコ。



■ PAL: 上記以外の国/地域。



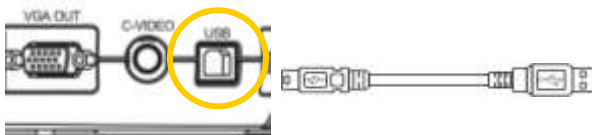
<注> C-VIDEO ではオンスクリーンディスプレイ(OSD)は使用できません。このモードでは、コントロールパネルおよびリモートコントローラで使用できない機能があります。

<注> C-VIDEO が有効になると VGA OUT はサポートされません。

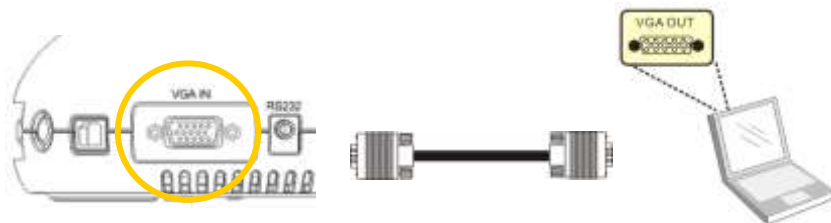
3. DC158 が再スタートされるまで DIP スイッチの設定は有効ではありません。

➤ コンピュータへの接続

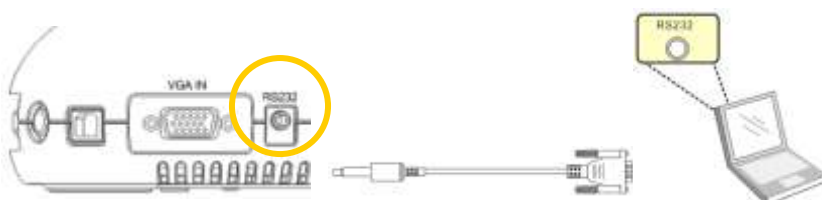
1. DC158 の USB ポートから出ている USB ケーブルをコンピュータの USB ポートに接続します。次に、Lumens ウェブサイト(<http://www.lumens.com.tw/goto.htm>)から **Ladibug™**プログラムをダウンロードします。



2. DC158 の VGA IN ポートから出ている VGA ケーブルをコンピュータの VGA OUT ポートに接続します。

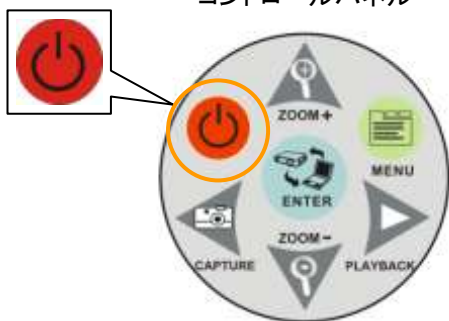


3. RS-232 アダプタ(オプション)を DC158 上の RS-232 ポートとコンピュータ上の RS-232 ポートに接続します。



4.3 はじめに

コントロールパネル



リモートコントローラ



- リモートコントローラで DC158 をオンにするには、DC158 にあるリモートセンサーの方向に向けて電源ボタンを押します。
- DC158 がオンになると、プロジェクターに付いている LED が 2、3 回点滅してから点灯状態になります。LED が点灯しない場合は販売店に問い合わせてください。

4.4 アプリケーションソフトウェアのインストール

USB ドライバとアプリケーションソフトウェアをインストールした後、以下の機能を使用することができます：

- DC158 のコントロール。
- 画像のキャプチャーおよび録画。
- 画像をアノテーションし、重要な部分を強調表示して保存します。
- 全画面機能をサポートします。

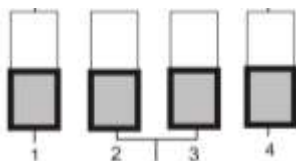
<注>：インストール手順およびソフトウェア操作については、Ladibug™ のソフトウェアユーザーマニュアルを参照してください。

第 5 章 ディップスイッチ

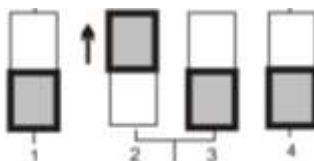
<注>: DIP スイッチの構成を有効にするには、DC158 を再起動する必要があります。

5.1 プロジェクターまたはモニターへの接続

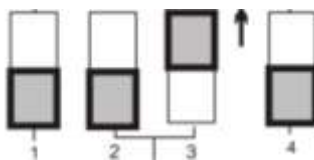
5.1.1 SXGA 出力(工場出荷時デフォルト):



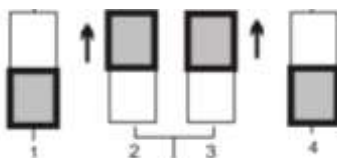
5.1.2 WXGA 出力



5.1.3 XGA 出力

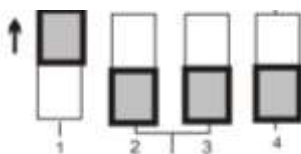


5.1.4 未使用

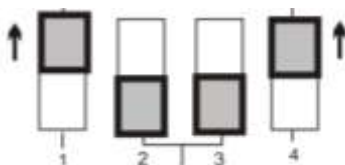


5.2 TV への接続

5.2.1 NTSC の設定: 米国、台湾、パナマ、フィリピン、カナダ、チリ、日本、韓国およびメキシコ



5.2.2 PAL の設定: 上記以外の国/地域



<注> C-VIDEO が有効になると VGA OUT はサポートされません。

第 6 章 コントロールパネル/リモートコントローラ およびオンスクリーンメニューの紹介

6.1 コントロールパネルおよびリモートコントローラのボタンの機能

<注釈> 機能はアルファベット順に記載されています。

名称	機能の説明	操作
	ビジュアルプレゼンターの電源をオン/オフします。	リモートコントローラ/ コントロールパネル
◀, ▶, ▲, ▼	上方、下方、左方または右方に移動して必要な機能を選択します。	リモートコントローラ/ コントロールパネル
AF	レンズと投影される被写体の間の焦点距離を自動的に調節します。	ユニットのレンズの片側
AUTO TUNE	最適な輝度および焦点距離に自動的に調整します。	リモートコントローラ
BRT+/-	画像の輝度を調整します。	リモートコントローラ
CAPTURE	画像を内部メモリーにキャプチャします。	リモートコントローラ/ コントロールパネル
DELETE	内部メモリー内に保存された画像を削除します。	リモートコントローラ
ENTER	機能にアクセスまたはそれを起動します。	リモートコントローラ/ コントロールパネル
FREEZE	画面上の現在の画像を一時的にフリーズします。再度押してフリーズを解除します。	リモートコントローラ
MENU	オンスクリーンメニューを起動/終了します。	リモートコントローラ/ コントロールパネル
PAN	ライブ画像の一部を横切って移動します。	リモートコントローラ
PBP	これによって、ユーザーはライブ画像をキャプチャされた画像ファイルと比較することができます。	リモートコントローラ
PLAYBACK	キャプチャされた画像を再生します。	リモートコントローラ/ コントロールパネル
ROTATE	画像を 0°/90°/180°/270°回転させます。	リモートコントローラ
SLIDE SHOW	スライドショーで写真を再生します。	リモートコントローラ
SOURCE	以下の異なる画像ソースを切り換えます。 1. ライブ画像(デフォルト)。 2. PC。	リモートコントローラ/ コントロールパネル
ZOOM +/-	画像サイズを増減します。	リモートコントローラ/ コントロールパネル

6.2 オンスクリーンメニュー

<注> リモートコントローラまたはコントロールパネルの[Menu]を押して、オンスクリーンメニューに入ります。下表で太い下線の付いた値はデフォルト値です。

第1レベル 主項目	第2レベル 副項目	第3レベル 調節値	機能の説明
表示 (Display)	自動調整 (Auto Tune)	入力	[ENTER]を押して、最適な輝度および焦点距離に自動的に調節します。
	焦点 (Focus)	0 ~ 最大	左および右矢印キーを使用して焦点距離を調節します。
	モード (Mode)	<u>ノーマル</u> /スライド/フィルム/顕微鏡	左および右矢印キーを使用して画像モードを選択します。
	写真/テキスト (Photo/Text)	<u>写真</u> /テキスト/グレー	左および右矢印キーを使用して写真/テキスト/グレーモードを選択します。
	PBP	入力	[ENTER]を押して画像比較モードを即座に起動します。
	PAN	オン/ <u>オフ</u>	左および右矢印キーを使用してライブ画像を横切って移動します。
	回転 (Rotate)	<u>0°</u> /90°/180°/270°	左および右矢印キーを使用して画像を回転します。
ストレージ (Storage)	スライドショー (Slide Show)	入力	[ENTER]を押して、スライドショーモードで内部メモリに保存されている写真を再生します。
	スライドショー効果 (Slide Show Effect)	<u>オフ</u> /シャッター/右/下/横/オープン	左および右矢印キーを使用してページめくりモードを選択します。
	遅延 (Delay)	<u>1 秒</u> /3 秒/5 秒/10 秒/手動	左および右矢印キーを使用してページめくりのタイミングを選択します。(手動モードを選択して画像を手動で切り替えます。)
	すべて削除 (Delete All)	ハイ/ <u>イイエ</u>	左および右矢印キーを使用して希望の画像を選択し、[ENTER]を押して写真の削除を確定します。
	フォーマット (Format)	ハイ/ <u>イイエ</u>	左および右矢印キーを使用して選択し、内部メモリをフォーマットします。
	自動消去 (Auto Erase)	オン/ <u>オフ</u>	左および右矢印キーを使用して、システムのシャットダウン時に保存されているすべての画像を自動的に削除する自動消去機能を有効/無効にします。
設定 (Setting)	キャプチャモード (Capture Mode)	<u>写真</u> /ビデオ	左 および 右 矢 印 キー を 使 用 し て、[CAPTURE]設定を選択します。

	USB 転送 (USB Transfer)	<u>カメラ</u> /ストレージ装置	左および右矢印キーを使用してUSB転送モードを選択します。
	ランプ (Lamp)	<u>オン</u> /オフ	左および右矢印キーを使用してランプをオン/オフします。
	AE	<u>オン</u> /オフ	左および右矢印キーを使用して、自動消去(AE)をオン/オフします。
	AWB	入力	[ENTER]を押してオートホワイトバランス(AWB)を即座に起動します。
	暗視 (Night Vision)	オン/ <u>オフ</u>	左および右矢印キーを使用して暗視モードを選択します。
	プロジェクタータイプ (Projector Type)	DLP/ <u>LCD</u>	左または右矢印キーを使用してプロジェクターのタイプを選択し、画像ノイズを低減します。
詳細 (Advance)	言語 (Language)	<ol style="list-style-type: none"> 1. <u>English</u> 2. 繁體中文 3. 简体中文 4. Deutsch 5. Français 6. Español 7. Русский 8. Nederlands 9. Suomi 10. Polski 11. Italiano 12. Português 13. Svenska 14. dansk 15. ČESKY 16. العربية 17. 日本の 18. ελληνικά 	<u>英語</u> 繁体字中国語 簡体字中国語 ドイツ語 フランス語 スペイン語 ロシア語 オランダ語 フィンランド語 ポーランド語 イタリア語 ポルトガル語 スウェーデン語 デンマーク語 チェコ語 アラビア語 日本語 ギリシャ語 言語オプションで左および右矢印キーを使用して希望の言語を選択します。
	プリセットの読み込み (Preset Load)	ハイ/ <u>イイエ</u>	現在の画像モードの値を読み取ります。左および右矢印キーを使用して選択し、[ENTER]を押して確定します。
	プリセットの保存 (Preset Save)	ハイ/ <u>イイエ</u>	現在の画像モードの値を保存します。左および右矢印キーを使用して選択し、[ENTER]を押して確定します。
	工場出荷時設定へのリセット (Factory Reset)	ハイ/ <u>イイエ</u>	左および右矢印キーを使用して選択し[ENTER]を押して確定し、工場出荷時デフォルトを復元します。

第 7 章 主要機能の説明

7.1 画像ソースの切り換え

ライブ画像はデフォルトの画像ソースです。リモートコントローラまたはコントロールパネルの[SOURCE]を押して、以下の間で画像ソースを切り換えます。

1. ライブ画像(デフォルト)。
2. PC。

7.2 テキストを鮮明にし写真をカラフルにする

写真(写真モード)は[Photo/Text/Gray]モードにおいてデフォルトで選択されます。

- [Photo] (デフォルト): このモードで写真または写真付きテキストを表示して、写真の色を強化します。
- [Text]: このモードではテキストファイルを表示して、テキストを鮮明にします。
- [Gray]: このモードではグレースケールまたは白黒写真を表示します。

以下のように、リモートコントローラまたはコントロールパネルで設定を変更します。

1. [MENU]を押してオンスクリーンメニューに入ります。
2. [▶]または[◀]を押して[Display]を選択します。
3. [▼]を押して[Photo/Text/Gray]モードの中から選択します。(最良の選択を行うために[上記の説明](#)を参照してください。)
4. [▶]または[◀]を押して[Photo/Text/Gray]モードの中で移動します。
5. [MENU]を押して終了します。

7.3 画像からズームイン/ズームアウトします

1. リモートコントローラまたはコントロールパネルの[ZOOM+]を押して画像にズームインします。
2. リモートコントローラまたはコントロールパネルの[ZOOM-]を押して画像からズームアウトします。

7.4 オートフォーカスの使用

1. コントロールパネルから、レンズの右側に付いている[FOCUS]ボタンを押します。

7.5 輝度の調節

1. リモートコントローラまたはコントロールパネルから、[BRT+]を押して画像を明るくします。
2. リモートコントローラまたはコントロールパネルから、[BRT-]を押して画像を暗くします。

7.6 ランプのオン/オフ

リモートコントローラまたはコントロールパネルから:

1. [MENU]を押してオンスクリーンメニューに入ります。
2. [▶]または[◀]を押して[Setting]を選択します。
3. [▼]を押して[Lamp]モードを選択します。
4. [▶]または[◀]を押して[ON]/[OFF]を選択します。
5. [MENU]を押して終了します。

7.7 最適な輝度および焦点距離への画像の自動調節

リモートコントローラから:

1. [AUTO TUNE]を押して、輝度および焦点距離を最適にします。

コントロールパネルから:

1. [MENU]を押してオンスクリーンメニューに入ります。
2. [▶]または[◀]を押して[Display]を選択します。
3. [▼]を押して[Auto Tune]モードの中から選択します。
4. [ENTER]を押します。
5. [MENU]を押して終了します。

7.8 画像のフリーズ

1. リモートコントローラで[FREEZE]を押して、画面上の現在の画像をフリーズします。再度押してフリーズを解除します。

7.9 画像のキャプチャ

1. リモートコントローラまたはコントロールパネルの[CAPTURE]を押して、画像をキャプチャして保存します。

7.10 ビデオを録画したい

リモートコントローラまたはコントロールパネルから:

1. [MENU]を押して設定メニューに入ります。
 2. [▶]または[◀]を押して[Setting]メニューに進みます。
 3. [▼]を押して[Capture Mode]が表示されます。
 4. [▶]または[◀]を押して[Video]を選択します。
 5. [MENU]を押して終了します。
 6. ビデオを録画するには[CAPTURE]を押します。
 7. [CAPTURE]を再度クリックして録画を停止します。
- ビデオの再生については、[7.11 キャプチャされた画像のブラウズ](#)を参照してください。

7.11 キャプチャされた画像の参照

1. リモートコントローラまたはコントロールパネルの[PLAYBACK]を押すと、保存されたすべてのキャプチャ画像のサムネイルが表示されます。
2. [▲]、[▼]、[◀]または[▶]を押して、閲覧したいサムネイルを選択します。
3. 画像を全画面表示するには[ENTER]を押します。
4. [▶]または[◀]を押して保存されている画像をブラウズします。
5. [PLAYBACK]を押して終了します。
6. [MENU]を押して終了します。

7.12 キャプチャされた画像の削除

リモートコントローラから:

1. [PLAYBACK]を押します。
2. [▲]、[▼]、[◀]または[▶]を押して、削除したい希望のサムネイルを選択します。
3. [DELETE]を押して選択されたファイルを削除します。
4. [MENU]を押して終了します。

コントロールパネルから:

1. [MENU]を押してオンスクリーンメニューに入ります。
2. [▶]または[◀]を押して[Storage]を選択します。
3. [▼]を押して[Delete All]を選択します。
4. [▶]または[◀]を押して[Yes]を選択します。
5. [ENTER]を押して選択を確定します。
6. [MENU]を押して終了します。

7.13 装置がオフになると自動的にキャプチャされた画像を削除する(自動削除)

リモートコントローラまたはコントロールパネルから:

1. [MENU]を押してオンスクリーンメニューに入ります。
2. [▶]または[◀]を押して[Storage]メニューに進みます。
3. [▲]または[▼]を押して[Auto Erase]を有効にします。
4. [▶]または[◀]を押して[ON]モード中から選択します。
5. [MENU]を押して終了します。

7.14 ライブ画像のパン(PAN)

<注> 顕微鏡モードではパンとズームは使用できません。

リモートコントローラから:

1. リモートコントローラの[PAN]を押して、ライブ画像の一部にズームインします。
2. [▲]、[▼]、[◀]または[▶]を押して、部分的にズームインした画像の周辺を移動します。

3. [PAN]を押して部分的ズームインモードを終了します。

コントロールパネルから:

1. [MENU]を押してオンスクリーンメニューに入ります。
2. [▶]または[◀]を押して、[Display]メニューを選択します。
3. [▼]を押して[PAN]を選択します。
4. [▶]または[◀]を押して[ON]モード中から選択します。
5. [MENU]を押して終了します。
6. [▲]、[▼]、[◀]または[▶]を押して、部分的にズームインした画像の周辺を移動します。

7.15 スライドの再生(スライドショー)

7.15.1 スライドショーエフェクトの使用:

1. リモートコントローラまたはコントロールパネルの[MENU]を押して、オンスクリーンメニューに入ります。
2. [▶]または[◀]を押して、[Storage]メニューを選択します。
3. [▼]を押して[Slide Show Effect]を有効にします。
4. [▶]または[◀]を押して、[Off/Shutter/Right/Down/Side/Open]の中でページめくりモードを選択します。
5. [MENU]を押して終了します。

7.15.2 遅延時間の設定

1. リモートコントローラまたはコントロールパネルの[MENU]を押して、オンスクリーンメニューに入ります。
2. [▶]または[◀]を押して、[Storage]メニューを選択します。
3. [▼]を押して[Delay]を有効にします。
4. [▶]または[◀]を押して、ページめくりの時間間隔を[1 Sec/3 Sec/5 Sec/10 Sec/Manual]の中から選択します。
5. [MENU]を押して終了します。

7.15.3 画像再生の開始/一時停止/停止

<注> 8 M バイトを超える画像は再生できません。再生中に[ROTATE]機能を起動して、画像を回転することができます。

リモートコントローラから:

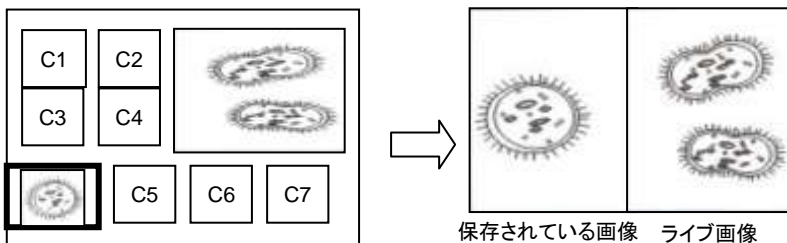
1. [SLIDE SHOW]を押して再生を開始します。
2. [ENTER]を押して再生を一時停止します。
3. [ENTER]を再度押して再生を継続します。
4. [SLIDE SHOW]を再度押して再生を停止します。

コントロールパネルから:

1. [MENU]を押してオンスクリーンメニューに入ります。
2. [▶]または[◀]を押して、[Storage]メニューを選択します。
3. [▼]を押して[Slide Show]を有効にします。
4. [ENTER]を押して画像を再生します。
5. [ENTER]を押して再生を一時停止します。
6. [ENTER]を再度押して再生を継続します。
7. 再生を終了するには、手順 1 および 4 を繰り返します。

7.16 ライブ画像の保存されている画像との比較(PBP)

この機能によって、右側にライブ画像、左側に保存された画像を比較のために同時に表示することができます。



リモートコントローラから:

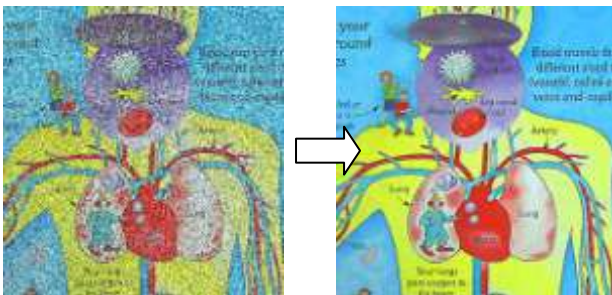
1. [PBP]を押して写真選択画面に入ります。
2. [▲]、[▼]、[◀]または[▶]を押して、比較するファイルを選択します。
3. [ENTER]を押して画像比較を起動します。
4. [ENTER]を押して、保存された画像とライブ画像を切り換えます。
5. [▶]または[◀]を押して、選択された画像を左または右に移動します。
6. [ZOOM +/-]を押してライブ画像からズームイン/ズームアウトします。
7. [PBP]を押して保存された画像の画面に戻ります。
8. [MENU]を押して終了します。

コントロールパネルから

1. [MENU]を押してオンスクリーンメニューに入ります。
2. [▶]または[◀]を押して、[Display]メニューを選択します。
3. [▼]を押して[PBP]を選択します。
4. [PBP]を押して写真選択画面に入ります。
5. [▲]、[▼]、[◀]または[▶]を押して、比較のための希望ファイルを選択します。
6. [ENTER]を押して画像比較を起動します。
7. [▶]または[◀]を押して選択された画像中から移動します。
8. [ZOOM +/-]を押してライブ画像からズームイン/ズームアウトします。
9. [PBP]を押して保存された画像の画面に戻ります。
10. [MENU]を押して終了します。

7.17 画像ノイズを低減したい(プロジェクタータイプ)

1. この機能によってドキュメントカメラは自動的に画像ノイズを除去することができます。ドキュメントカメラが DLP プロジェクターに接続されていると、ノイズが特に目立ちます。DLP プロジェクターを設定して画質を改善することができます。
2. VGA 出力が接続されているとき特別なノイズが発生する場合、DLP オプションを設定して画質を改善してください。



3. リモートコントローラまたはコントロールパネルで[MENU]を押して、設定メニューに入ります。
4. [▶]または[◀]を押して[Setting]メニューに進みます。
5. [▼]を押して[Projector Type]に入ります。
6. [▶]または[◀]を押して[LCD/DLP]を選択します。
7. [MENU]を押して終了します。

7.18 工場出荷時デフォルト設定の復元(工場出荷時設定へのリセット)

以下のリモートコントローラまたはコントロールパネルを使用します:

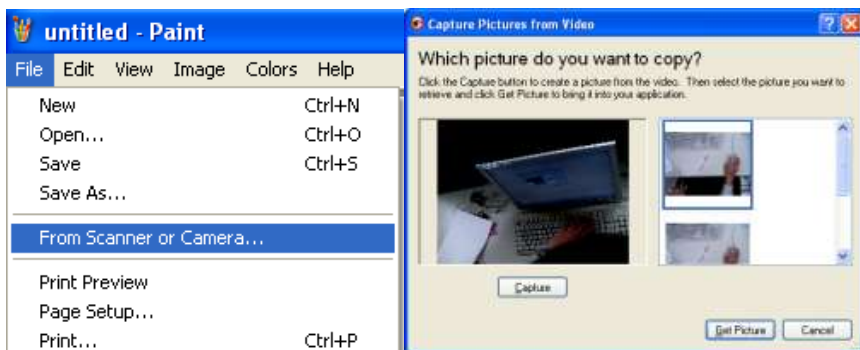
1. リモートコントローラまたはコントロールパネルの[MENU]を押して、オンスクリーンメニューに入ります。
2. [▶]または[◀]を押して[Advance]メニューを選択します。
3. [▼]を押して[Factory Reset]を選択します。
4. [▶]または[◀]を押して[Yes]を選択します。
5. [ENTER]を押して起動します。

7.19 コンピュータ関連機能

コンピュータ関連機能を使用する前に、USB ケーブルが接続されており、ドライバがインストールされていることを確認してください。このユーザーマニュアルの [第 4 章 インストールと接続の 4.2.2 外部装置への接続および 4.4 アプリケーションソフトウェアのインストール](#) を参照してください。

7.19.1 MS-Paint アプリケーションへの写真の挿入

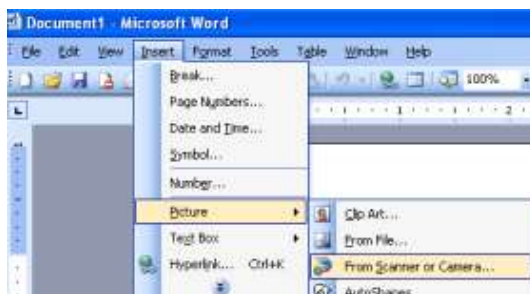
1. 左下の図に示すとおり、MS-Paint アプリケーションで[File> From Scanner or Camera]をクリックします。



2. 右上端の図に示すとおり、[Get Picture]をクリックして終了します。

7.19.2 MS-Wordドキュメントへの写真の挿入

1. MS-Wordアプリケーションで[Insert/Image/From Scanner or Camera]をクリックします。



2. [Visual Presenter V2]を選択し、[Custom Insert]をクリックします。



3. [Get Picture]をクリックして終了します。



7.19.3 DC158 の設定変更後に MS-Word に写真をキャプチャする

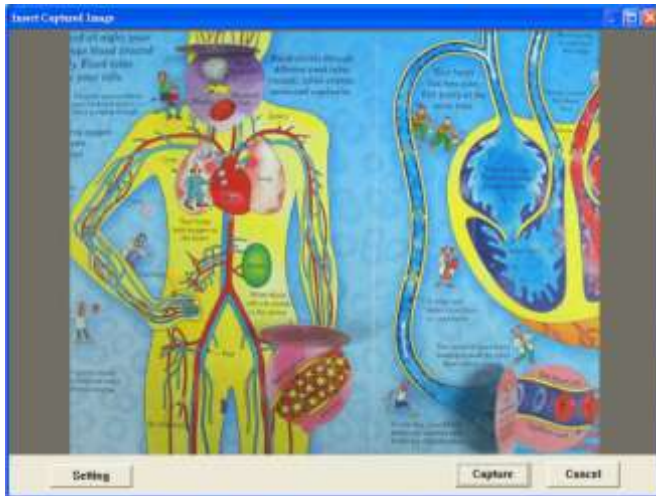
1. MS-Word で[Insert/Image/From Scanner or Camera]をクリックします。



2. [Visual Presenter V2 TWAIN]を選択し、[Custom Insert]をクリックします。



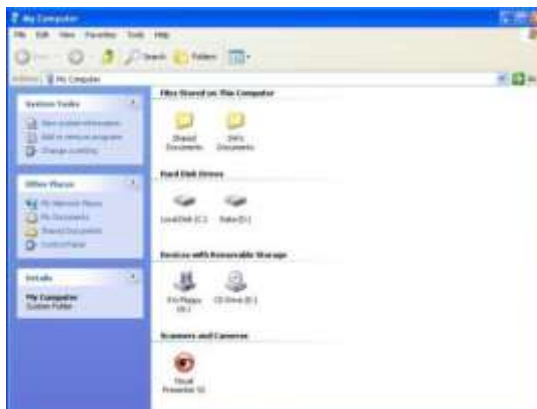
3. ライブ画像を表示するウィンドウ(以下を参照)が表示されます。



4. [Setting]を押します:カメラ設定ウィンドウがポップアップ表示されると、ライブ画像を調整することができます。操作はリモートコントローラとコントロールパネルの両方の場合と同じです。詳しくは[第6章 コントロールパネル/リモートコントローラのボタンおよびオンスクリーンメニュー](#)を参照してください。
5. [Capture]を押して、**MS-Word** で画像をキャプチャします。
6. [Cancel]を押して終了します。

7.19.4 PC カメラとしての DC158 の設定

1. **マイコンピュータ**を開き、[Visual Presenter V2]をクリックして、ライブ画像を表示します。



第 8 章 顕微鏡との接続

1 付属品パックに含まれた**顕微鏡アダプタ**の顕微鏡への取付け
<注> 顕微鏡アダプタは約 $\varnothing 28.4 \text{ mm}$ の接眼レンズに適合します。

2 DC158 のレンズを**顕微鏡アダプタ**に接続します。



3 顕微鏡モードの選択

3.1. コントロールパネルまたはリモートコントローラを使用

3.1.1. [MENU]を押してオンスクリーンメニューに入ります。

3.1.2. [▶]または[◀]を押して[Display]を選択します。

3.1.3. [▼]を押して[Mode]の中から選択します。

3.1.4. [▶]または[◀]を押して[Microscope]を選択します。

4 画像が不鮮明な場合：

4.1. 顕微鏡の焦点を調節してください。

4.2. DC158 のレンズの一端についている[FOCUS]ボタンを押して、オートフォーカスを起動してください。

第 9 章 トラブルシューティング

この章では、よくある問題に対する可能な解決策の概要が記載されています。その他の問題については、販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。

番号	問題	解決方法
1	電源の信号がない	電源コードがコンセントおよびユニットに確実に接続されていることを確認してください。
2	DC158 から画像が出力されない	<ol style="list-style-type: none">1. 電源コンセントをチェックしてください。2. 接続をチェックしてください。このマニュアルの第 4 章 設置と接続の中の 4.2.2 外部装置への接続を参照してください。3. 信号源[SOURCE]を確認してください。このマニュアルの第 7 章 主要機能の説明の中の 7.1 画像ソースの切り換えを参照してください。4. プロジェクターのソースの設定を確認してください。プロジェクターのユーザーマニュアルを参照してください。5. DIP スイッチが正しく設定されているかチェックしてください。関連する設定については、第 5 章 DIP スイッチを参照してください。
3	焦点を合わせることができない	文書がレンズに近すぎる可能性があります。リモートコントローラまたはコントロールパネルで[ZOOM -]を押してください。または、レンズと文書の距離を長くしてから、レンズの右側に付いている[FOCUS]ボタンを押します。
4	画像の全体が見えない	プロジェクターの自動画像をチェックします。プロジェクターのユーザーマニュアルを参照してください。
5	ビジュアルプレゼンター V2、Ladibug™ およびその他のアプリケーションを同時に使用できません	ビジュアルプレゼンター V2、Ladibug™ およびその他のアプリケーションを同時に使用できません。現在実行中のアプリケーションを閉じてから、使用したいアプリケーションを実行してください。
6	画像を録画できない	<ol style="list-style-type: none">1. 保存されたデータが USB ディスク(優先)または内部メモリの最大サイズに達しているかどうかを確認します。2. 回転角を確認してください。画像が 90°/270°だけ回転していると録画できない場合があります。